

【1】令和6年度事業計画

1. 事業の方針と概要

一宮まちなか未来会議においては、今期をウォークブル事業具現化へのキックオフの年として、下記の事業を展開してまいります。

具現化の第1歩として、まずは本町通りを歩行者中心のまちとするべく、いつ何をどのような方法で実装していくかの検討と、その検討をテーマとした社会実験に取り組み、計画、実践、検討、改善を繰り返しながら、イノベーション事業の可能性を探ります。

とりわけ今年度の秋頃を「ホンマチチャレンジ」期間とし、歩行者優先とする時間帯の拡張を、維持可能な形として取り組み、多様な社会実験を実施し、実利的な評価検討を重ねます。

こうした事業を運営する主体としての自立し自律的で持続可能な民間自走組織、いわゆるまちづくり会社のような組織の早期構築を目指して検討研究をします。多様な主体による多様な取り組みやニーズを調整し、地域資源の発見や開発、活用を促進します。

これら活動を展開しながら、一宮のまちなかまちづくりに関わる人々が地域の未来をより具体的に描けるよう、前年度にスタートした学びと意見交換する場である「TUMUGUBA」や「円卓会議」をさらに展開していきます。

この他、定着し始めた公共空間利活用の「ミライアクション365days」は、一宮駅西口広場や銀座通り歩道などで継続拡大展開をはかり、同時にそれを管理する人的仕組みも構築していきます。

上記の活動を公表公開された形でも実施し、将来の自走組織へ色々な形でコミットしていくスタッフを募集し発掘し育成する作業を常に平行して実施していきます。

2. 事業の計画

前年度の事業区分を見直し、以下1) 2) の事業とする。

- 1) 会議運営事業
- 2) 社会実験事業

1) 自走組織の構築を目指す「会議運営事業」

自走組織の早期構築を目指しつつ、エリアプラットフォームとして下記の事業を実施する。

1. 会議運営

●総会の開催

当会議の規約にもとづいて、年1回（年度初め）の総会を開催する。なお、理事会で必要と判断すれば年度途中での総会の開催も行う。

●理事会の開催

会議の規約にもとづいて、理事会を開催し、事業の企画、実施にあたり必要な判断を行っていく。

【会議運営の方針】

上記の総会、理事会の開催にあたり、その準備、招集、開催案内、会場準備、資料作成、記録作成、当日運営、報告書作成等の作業などを実施する。

民間団体として、また将来の自走化を視野に、記録や報告業務は可能な範囲で簡略化し、今後のモデルとしても事業費の削減と実効性の確保を推進する。

また、会議運営や事業実施を形式的なものではなく創造的で実効性のあるものにする。

2. 一宮まちなか未来ビジョンの検討

令和5年度までに検討作成した「一宮まちなか未来ビジョン」を当会議の活動方針として、一宮市へ提言するとともに、ホームページや行事などの機会を活かして広く市民に提示、共有していく。

さらに、当会議の活動の進展や、刻々と変化する地域および社会状況に柔軟に対応する方針とするため、今後も常に関係者による議論を経て総会や理事会の承認によって、適宜の改訂、バージョンアップを行う。

3. 部会の運営

令和5年度に引き続き下記の4つの部会活動を実施する。

また、「TUMUGUBA」「円卓会議」などの分野横断的な取り組みを、合同部会として取り組んでいく。さらに、事業内容に応じて柔軟にかつ有機的に連携して活動を行う。

●公共空間部会

銀座通り、本町通り、道路や公園など公共空間利活用の取り組みを検討する。特に、社会実験の企画について検討を行う。

●地域資源活用部会

銀座通り、本町通りなどにおける空き家・空き店舗、まちなかに点在する公共施設や公有地等の活用について検討を行う。

●情報発信部会

今後のまちなかにおける情報発信やプロモーションについて検討を行う。

●アート部会

「国際芸術祭あいち 2020」で醸成されたアートへの関心の高まりや人的ネットワークなど有形無形の地域資源を今後のまちなかの魅力形成に活かすための検討を行う。

4. ウォークブル関連事業や様々なまちなか関連事業への協力

ウォークブル関連事業である「一宮まちなかシンポジウム」を共催するなど、積極的に連携してまちなかの再生に取り組む。また、その他にもまちなかで展開される伝統的な祭りや新たなイベント等と連携協力し、各事業の相乗効果を高めてまちなかの総合的な再生を目指す。

2) ウォークブル実装を目指す「社会実験事業」

過去3年のイベント実験を経て、日常のまちなか活性化と人間ファーストの都市空間構築を目指し、下記の事業を社会実験企画運営検討検証業務として実施する。

1. ミライアクション 365days の管理運営
 - a. 昨年度の展開を踏襲
 - b. 一宮駅西口広場や銀座通りの歩道など
2. ホンマチチャレンジの企画管理運営
 - a. 歩行者利便推進道路（ほこみち）実装に向けた取り組みに合わせて、様々なイベントや出店者等と連携
 - b. 商業者等との連携強化
 - c. 社会実験実施者の募集・選定・調整
 - d. 交通安全の啓発
3. TUMUGUBA の開催
 - a. オンライン開催など多様な形式を模索
 - b. 歩行者利便推進道路（ほこみち）の研究
4. 円卓会議の開催
 - a. 商店街や住民組織等地域団体との協働共催で開催
 - b. 利害関係者誰もがフラットな関係性の中で発言時間を限定して議論
5. ファニチャー管理運営
月に一度程度、確認、清掃、記録
6. 効果検討検証業務
出店者や来場者、商業者等に対して、回答がしやすいアンケートを実施し、その結果を明解な形で整理報告

7. 公共空間関連業務

a. 社会実験管理運営

主に交通計画の作成や関係機関及び地元調整(周辺商店街、自治会、近隣住民及び事業者への周知協力依頼)、空間管理及び社会実験当日の現場運営(空間活用エリアの準備、問い合わせ対応、運営、記録作成、現場管理)を実施

b. 歩行者利便推進道路(ほこみち)の実験

c. ベンチの検討

d. 自走組織の現実的構築を目指し、ヒト・モノ・カネ等の資源を検討

8. 地域資源活用関連業務

a. まちなかの空き家や空き店舗等の有効活用と将来プラン提案調整等

b. 様々なプレイヤーのまちなか展開のマッチングやサポート

9. 情報発信関連業務

a. まちまちチャンネル(株)アイ・シー・シー)・まちまちラジオ(FM いちのみや(株)・まちまちマガジン(メルマガ)等の企画

b. 広報協力先、依頼先等の名簿作成整理

c. 社会実験の広報(チラシ及びポスター、SNS発信、参加者広報マニュアル等)支援

d. 社会実験のスチール撮影

e. 映像撮影・ショート動画制作

f. 年間活動レポートの作成

g. 一宮まちなか未来会議パンフ作成(簡易リーフレット、入会案内)支援

h. 情報発信部会における企画や支援を受けながら、発注や配布等を実施

10. アート関連業務

a. 「ICHINOMIYA ART WALK」はじめ、まちなかアート事業の企画実施

b. 真清田神社周辺エリアの地域資源の掘り起し

3. 事業の年間スケジュール（※スケジュールは変更の可能性あり）

	会議等	活動内容	関連イベント
4 ～ 6 月	4/5 理事会ミーティング 5/13 理事会 1 5/30 総会 部会	部員募集 TUMUGUBA 企画 円卓会議企画 365days 広報マニュアル TUMUGUBA 本町円卓会議(協催)	●365days 新年度受付開始 ●6/23(日)まちの宮市 33[本町] ●6/29(土)肉フェス 1[本町]
7 ～ 9 月	理事会 2 部会	銀座円卓会議(協催) TUMUGUBA 本町円卓会議(協催)	●7月頃 シンポジウム 3 ●7/24(水)にぎわい広場 ●7/25(木)～28(日)七夕まつり ●8/18(日)まちの宮市 34[本町] ●9/8(日)まちの宮市 35[本町] ●門前マルシェ
10 ～ 12 月	理事会 3 部会	ホンマチチャレンジ TUMUGUBA ART WALK 本町円卓会議(協催)	●10月頃 シンポジウム 4 ●10/5(土) だいたいオープニング[i-ビル] 人生ゲーム[本町] ●10/12(土)13(日) イベント[本町等] クラフトビアパーティ[本町] まちの宮市 36[本町] ●10/19(土) おいちまつり[本町等] ●10/27(日) だいたいお菓子ラリー ハロウィンランウェイ[本町等] ●10/5(土)～10/27(日)の土日祝日 9日間 だいたいフェスタ大集合 for Halloween 2024[銀座・駅周辺] ●11/3(日)まちの宮市 37[本町] ●12/8(日)まちの宮市 38[本町] 門前マルシェ[宮前/本町 1]
1 ～ 3 月	理事会 4 部会	銀座円卓会議(協催) 本町円卓会議(協催)	●2月頃 シンポジウム 5 ●2/28(日)まちの宮市 39[本町] ●3/28(日)まちの宮市 40[本町]
他 ・ 年間		FM まちまちラジオ<隔週> ICC まちまちチャンネル<毎月> まちまちマガジン<毎月>	

※略称表記あり

4. 事業の実施形態

- 主 催： 一宮まちなか未来会議（代表 安藤元二 副代表 喜多茂樹）
- 事 務 局： 一宮市まちづくり部都市計画課
- 企画運営： 特定非営利活動法人志民連いちのみや（星野博・藤森幹人・スタッフ）
- 協 力： 一宮市本町一丁目商店街振興組合、一宮市本町二丁目商店街振興組合、
一宮市本町三丁目商店街振興組合、一宮市歩町四丁目商店街振興組合、
一宮市銀座通商店街振興組合 ほか

【2】令和6年度予算(案)

令和6年度の子算(案)は以下のとおりとなる。

[収入の部]

(単位：円)

区 分	当初予算額 (A)	前年度現計 予算額(B)	差引増減額 (A-B)	備 考
1 一宮市負担金	28,832,000	27,179,000	1,653,000	
2 利息	0	1	▲1	
3 繰越金	1	0	1	
計	28,832,001	27,179,001	1,653,000	

[支出の部]

(単位：円)

区 分	当初予算額 (A)	前年度現計 予算額(B)	差引増減額 (A-B)	備 考
1 事業費	28,787,000	27,173,000	1,614,000	
会議運営事業費	6,787,000	0(※)	6,787,000	
社会実験事業費	22,000,000	27,173,000	▲5,173,000	社会実験の企画検討、 運営、効果検証、広報等
2 事務費	45,001	6,000	39,001	
計	28,832,001	27,179,000	1,653,001	

※前年度の会議運営事業費については、社会実験事業費に一括計上